第一問　つぎのわく内の文を，所定時間内で下に書きなさい。**所定時間　4分**
〈必ず**ボールペン**を使用すること。〉

一級

一枚め

等々力渓谷を訪れた。せせらぎを樹木が覆い，気温はちまたより５度ほど低い。遊歩道を行くと，修験者のための細い滝が涼やかな放物線を描いていた。修行の足らぬ身は，これに打たれたら脳天から生き返ると雑念がよぎる。各地で梅雨が明け，本物の夏が来た。みずみずしい野菜の助けを借りて体を内から冷す。そうめんばかりではだめだ。

等々力渓谷を訪れた。せせらぎを樹木が覆い，気温はちまたより５度ほど低い。遊歩道を行くと，修験者のための細い滝が涼やかな放物線を描いていた。修行の足らぬ身は，これに打たれたら脳天から生き返ると雑念がよぎる。各地で梅雨が明け，本物の夏が来た。みずみずしい野菜の助けを借りて体を内から冷す。そうめんばかりではだめだ。

文部科学省後援　書写技能審査
平成25年度第１回硬筆書写技能検定　試験問題
〈実技問題〉

平成25年６月16日実施

試験会場名	団　体　名	受験番号

第　一　問
点

受験者名簿に転記

第二問

つぎの★印のあるわく内の五つの語句（一〇字）を、**楷書・行書・草書**の三体で書きなさい。〈**つけペン・万年筆**または**ボールペン・サインペン**のいずれかを使用すること。〉鉛筆で下書きをしてはいけない。

楷書

趣味　葉書　手紙　洗心　行事

行書

趣味　葉書　手紙　洗心　行事

草書

趣味　葉書　手紙　洗心　行事

★

趣味　葉書　手紙　洗心　行事

第二問
点

第三問

つぎの★印のあるわく内の文を、左に書きなさい。（漢字は**行書**で書くこと。平仮名は連綿で書いてもよい。）〈**つけペン・万年筆**または**ボールペン・サインペン**のいずれかを使用すること。〉鉛筆で下書きをしてはいけない。

★

今の季節、夏のスピードは速い。初々しかった若葉はたちまち茂りを濃くし、緑となって湧き上がる。田んぼの稲も負けてはいない。

今の季節、夏のスピードは速い。初々しかった若葉はたちまち茂りを濃くし、緑となって湧き上がる。田んぼの稲も負けてはいない。

第三問
点

第四問

つぎのわく内の文を，横書きで下に書きなさい。（漢字は**楷書**で書くこと。数字やローマ字は，仮名や漢字に似合うものであればよい。速書きをねらうものではありません。）〈**つけペン・万年筆**または**ボールペン・サインペン**のいずれかを使用すること。〉鉛筆で下書きをしてはいけない。

バングラデシュ（Ｂａｎｇｌａｄｅｓｈ）は，インドの東隣にある共和国で，国土面積は１４．４万Km²，北海道の約２倍であって，大部分が沖積平野からなるデルタ地帯である。

バングラデシュ（Bangladesh）は，
インドの東隣にある共和国で，国土
面積は14.4万Km²，北海道の約
2倍であって，大部分が沖積平
野からなるデルタ地帯である。

第四問
点

第五問

つぎの★印の……で囲んだわく内のａ・ｂ・ｃのうち、いずれか一つを選んで、左の余白に、**自分の得意とする形**（書体・書きぶり・布置など）で書きなさい。鉛筆で下書きをしてはいけない。

なお、その場合、自由にわくの大きさや縦横の割合などを考え、**鉛筆で外わくを囲った**体裁のよい形に仕上げなさい。

〈**つけペン・万年筆**または**ボールペン・サインペン・油性または耐水性顔料のマーカー**を使用すること。〉

私たちは 山のあちらに

青く 光ってある空を

淡く ながれてゆく雲を

ながめてみた 言葉すくなく

楽しく学ぶ人権講座

日　時　六月十六日（日）
　　午後七時から九時まで

場　所　中央公民館

講　師　森本博光先生

参加費　無料

主　催　桂部市文化推進協会

平成25年度第１回硬筆書写技能検定　第六問用紙（**1級**）４枚め

試験会場名	団　体　名	受 験 番 号

第　六　問
点

受験者名簿に転記

ちまたを超えて木の葉は飛び
木立の上に鳥は鳴く
山のあなたのどこかに
私の遠いふるさとはある に違いない

雪散因和氣冰開
得暖光春銷不得
屢唯有鬢邊霜

風まに
雪は降りつみ
えだ
気くそらき
妻、来にけり